

【協議事項】

1 警察職員の特別派遣について

（警備部）

警察本部から「秋篠宮皇嗣同妃両殿下の「第23回全国障害者スポーツ大会」御臨席に伴う警衛に万全を期すため、佐賀県公安委員会から本県公安委員会に対し、警察職員の援助の要求がなされたことから、御審議をお願いする。また、天皇皇后両陛下の「第43回豊かな海づくり大会」御臨席に伴う警衛に万全を期すため、大分県公安委員会から本県公安委員会に対し、警察職員の援助の要求がなされたことから、御審議をお願いする。」旨の説明があった。

公安委員から「何事もないよう、しっかり対応してもらいたい。」旨の発言後、本件は了承された。

【報告事項】

1 9月定例県議会の結果について

（総務部）

警察本部から「9月定例県議会は、35日間の会期を終え、10月9日に閉会した。本会議における代表質問では、民主県政クラブ県議団からニセ電話詐欺及びSNS型投資・ロマンス詐欺被害の現状等について、公明党県議団から金属窃盗について質問が行われた。一般質問では、公明党県議団からチャイルドシート使用に係る意識啓発について質問が行われた。警察委員会では、警察本部から「飲酒運転撲滅対策の推進状況」について報告した。決算特別委員会では、令和5年度福岡県一般会計決算についての審査があり、新政会県議団から道路交通法の改正を含めた自転車の交通ルールの周知等について、民主県政クラブ県議団から再犯防止に向けた取組及びニセ電話詐欺の現状と若者が犯罪に加担しないための取組について質問がなされ、原案どおり認定された。」旨の報告があった。

公安委員から「インターネットやSNSを介して、若者が闇バイトなどに加担している現状があることから、そういった危険性を学校教育などの早い段階から意識付けしていくことが重要である。」旨の発言があり、警察本部から「教育委員会と連携し、学校警察連絡協議会における情報交換や暴排先生による講演などを通じて、SNS等に潜む危険性について呼び掛けを行っている。」、「大学生がだまされて犯罪に加担しているケースも見受けられるため、若者のネットリテラシ

一の向上については、大学と連携した取組の推進も重要な課題である」旨の説明があった。

公安委員から「再犯防止に向けた取組について質問がなされているが、ここでの再犯は、犯罪全般を指しているのか。」旨の発言があり、警察本部から「ここでの再犯は、薬物事犯等を除いた刑法犯を指している。刑法犯における再犯者が全体の約40パーセント、無職者では約47パーセントに上ることから、県に対して就労あっせんを要望したものである。」旨の説明があった。

公安委員から「県警察として、具体的な再犯防止対策はあるのか。」旨の発言があり、警察本部から「幼児等対象の性犯罪前歴者については、警察でも特に着目して、面接等の再犯防止対策を講じている。」旨の説明があった。

## 2 令和6年福岡県殉職警察職員慰霊祭の実施について

(警務部)

警察本部から「11月1日、警察学校において、令和6年福岡県殉職警察職員慰霊祭を実施する。同慰霊祭は、遺族会会長及び同会員のほか、知事、県議会議長、公安委員会委員長等の出席を予定している。」旨の報告があった。

公安委員から「近年は、どのような殉職事案が発生しているのか。」旨の発言があり、警察本部から「平成26年、大雨の中で活動していた警察官が側溝に足を取られ殉職した事案が発生している。」旨の説明があった。

公安委員から「今後、殉職事案が発生しないことを願っている。」旨の発言があった。

## 3 県職員の給与等に関する人事委員会報告及び勧告等の概要について

(警務部)

警察本部から「福岡県人事委員会から福岡県職員の給与等に関する報告及び勧告が行われた。報告の概要は民間給与との較差、勧告の概要は民間給与との較差に基づく給料月額及び期末・勤勉手当の引上げであり、給与条例を改正後、本年4月に遡及して差額追給される。このほか、社会と公務の変化に応じた給与制度の整備についても勧告がなされた。」旨の報告があった。

公安委員から「民間の初任給は大幅に引き上げられているが、警察官の初任給は

どの程度引き上げられるのか。」旨の発言があり、警察本部から「初任給の引上げ額は、大卒程度で2万7,200円、高卒で2万7,400円となっている。」旨の説明があった。

公安委員から「その引上げ額では、民間の初任給よりも低くなるのではないか。」旨の発言があり、警察本部から「民間の初任給の平均を見ながらの勧告であることから、大幅に引上げている企業等と同等の初任給にはならないところがある。」旨の説明があった。

#### 4 第50回衆議院議員総選挙違反取締本部の設置について

##### (刑事部)

警察本部から「第50回衆議院議員総選挙に伴い、10月10日、警察本部及び県下36警察署に選挙違反取締本部を設置し、所要の取締り体制を確保した。今後は、選挙の公正の確保、正当な選挙運動の自由の確保及び悪質な選挙犯罪の検挙を基本方針とし、不偏不党かつ厳正公平な取締りに努める。」旨の報告があった。

公安委員から「最近行われた選挙では、違反を検挙しているのか。」旨の発言があり、警察本部から「第49回衆議院議員総選挙では買収事件1件、第20回統一地方選挙では買収や詐偽投票事件等5件を検挙している。」旨の説明があった。

公安委員から「選挙の公正が図られるよう取締りを願います。」旨の発言があった。

#### 5 久留米市内における連続ひったくり事件等の捜査終結について

##### (刑事部)

警察本部から「久留米警察署ほか2警察署、少年課及び捜査第三課は、令和5年7月から令和6年3月までの間、久留米市内及び福岡市内において、主に原動機付自転車を使用し、歩行者から現金等在中のバッグをひったくるなどしたとして、久留米市居住の無職の男性ほか少年5人を含む7人を逮捕するなどした。捜査の結果、被疑者らによるひったくり事件等15件、被害総額約82万円相当を確認し、捜査を終結した。」旨の報告があった。

公安委員から「ひったくり事件は夜間に多く、被害者は女性が多いのか。」旨の発言があり、警察本部から「本件の発生時間帯は午後10時頃から午前2時頃が多く、被害者の大半は女性で、男性は1人のみであった。」旨の説明があった。

公安委員から「以前は、暴走族グループの少年らがこのような事件を起こすことも多かったと思うが、最近の暴走族グループはどのような状況なのか。」旨の発言があり、警察本部から「県内で把握している暴走族グループは2グループ、旧車會は26グループである。ここ最近、久留米市内における暴走族関連の110番通報が増加している。」旨の説明があった。

公安委員から「本件被疑者の中に18歳未満の少年は何人含まれているのか。」旨の発言があり、警察本部から「18歳未満の少年は4人である。」旨の説明があった。